

クラス番号	920	担当教員名	松下 典子
テーマ	現場から学ぶ地域福祉		

ゼミナール概要

<担当教員の自己紹介>

生きにくい地域の仕組みや課題を“何とかしたい！”とボランティア団体を立ち上げ、自分たちでできることをはじめた。見える課題の学びと実践から暮らしに合ったサービスを仕組みに、仕事にしてきた。そのプロセスは正に変化する地域の課題解決と新しい時代に合った社会システムの構築である。サービスラーニングは、変化進化する地域活動そのものが学びである。そして、市民自らの実践による新しい価値と新しい地域づくりである。平成3年団体立ち上げ以来NPOの基盤づくりにかかわっている。

目的) 一人一人が自立した社会生活をするために地域に何が必要か？何が問題か？どんな仕組み、制度が必要か？市民活動の実践現場から考え学ぶ。

<内容>

知多半島にあるNPOの現場は、一つひとつの課題に向き合い相互の学びと解決から創りだしてきた在宅サービス団体である。地域活動の実態を知ると同時に、課題を社会化し事業にしてきた経緯を学び、自らも地域で暮らす当事者として変化する暮らしの課題を考え学びあう。

地域に根ざして、子育て、障害者、高齢者介護、まちづくりなど、様々な活動に市民が主体的に取り組み在宅福祉の一端を担っている。そうしたNPOの現状を調べ、グループごとに企画立案した内容を夏休み6日間実践する。

活動の前は、NPOの職員の方との打合せや教室でのゼミ活動を通して、自分たちで地域のニーズを把握し、何が求められているのか、また何ができるのかを探る。そのうえで、学生は自分たちで行う活動を立案し、実践する。さらに、活動後にNPOの職員の方々との合同の振り返り会を行い様々な視点から活動での気づきや発見から地域福祉の視野を広げ考え合う。

<学習計画>

- 4・5月 地域活動の実態を知る。（「NPOバスツアー」に参加し現場を見る。NPOについて学ぶ。）
- 6・7月 地域貢献活動の企画（地域のつながり。自分たちは何ができるか？考え、計画を立てる。）
- 8・9月 NPOでの地域貢献活動（6日間）
- 10・11月 活動のふりかえり（グループのまとめ、活動先NPOの方を交えてふりかえり会）
- 12月・1月 活動報告会、学習のまとめ（クラスのまとめ、誰にもわかる報告。12月：報告会）

担当教員からのメッセージ

知多地域の様々なNPOは、それぞれの地域性とリーダーの個性が繋がって地域福祉の新しいうねりを創りだしてきています。一人一人の命の尊厳、“私らしく生きる”私の意志を大切に作る地域づくり、社会づくりの活動は自らの考え、学びの力を深め、解決力や判断力を醸成する実践場です。大いにチャレンジし自分磨きの機会にしてみませんか。時代は大きく変わる転換期にある。これまでの制度、価値観が通用しない変化の渦にあります。複雑化している個別の課題と地域福祉の関係を地域で直に感じ、人と人のつながりと対話の信頼関係を学んで人とのふれあい、関係性から未来への可能性に出会ってください。あなたの生き方も見えてくるゼミです。